

事業名： いわき市役所本庁舎耐震改修事業 設計・施工一括発注に係る公募型プロポーザル
現場説明会時質問への回答

No.	質問事項	回 答
1	<p>評価対象 浸水対策の範疇</p> <p>要求水準書 第 3 章 技術的要求水準 6 浸水対策工事 や 審査基準書 4 技術提案審査(二次審査) (2) 技術提案及び提案金額の評価 2 浸水対策で言われている「浸水対策」とは、文中表記されている通り既存設備機器への浸水対策と理解して宜しいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおり。</p> <p>ただし、免震装置の浸水対策は、様式第 7-2 号(5)及び要求水準書 P5・1(4)に記載のとおり評価の視点のひとつとして提案を求めています。</p>
2	<p>フルセット構造図</p> <p>貸出しされた資料の中で、構造図はごく一部であり、耐震改修事業を出件される以上、提案者が精度のある提案をするためにも構造図はフルセットでご提供頂きたい。</p>	<p>貸出資料については、現在本市で保管しているもの全てとなっております。</p> <p>なお、構造図等について本庁舎建設時の設計施工者に確認いたします。</p>
3	<p>基盤地震波</p> <p>①貸与資料の中の地震波資料で【要求水準書必須】となっている「地震波」のファイルの中をみると深度 2m とあるが、実際、土の中のどこのレベルの地震波か、教えて頂きたい。</p> <p>「提供データは GL-2m のデータで地下 1 階柱頭免震を想定した地震波を提供された」と、いう口頭でのご回答でした。</p> <p>B1 階柱頭免震を採用した場合でも、B1 階免震装置下部の影響を考慮した応答解析を行うため、現状の基礎床付位置 (GL-8.3m) での設計用地震動波が必要です。</p> <p>また、より良い提案として別の免震システムを選択する場合は、さらに異なる床付け位置での設計用地震動波が必要となります。必須地震波は工学的基盤波としていただけないでしょうか。</p>	<p>提供した地震波は柱頭免震を想定した深さ (GL-2.0 m) です。</p> <p>必須地震波の変更は行いません。提供した地震波を使用することにより、同一条件での技術提案を求めるものです。</p> <p>なお、要求水準書 P8(2)②及び P9(3)②の波形については独自に算定した地震波も合わせて使用することも可能であり、その場合には算定根拠を併せて提出してください。</p>

	②工学的基盤以浅での基礎床付け位置を考慮した設計用地震動波を作成するには、工学的基盤の地震波が必要です。工学的基盤の地震波はご提供頂けないのでしょうか。	上記、理由から追加の提供は行いません。
4	現場調査延長 より良い内容のご提案を行うために、計画された12月11日以降、設計をしている12月一杯と積算中の1月一杯も、現場をみさせて頂くことが必要になると考えていますので、ご配慮頂けませんでしょうか。	より良い提案の創出の観点から、現場調査期間を現行の「12月11日まで」を、「1月29日まで」と延長します。
5	設備関係 浸●の意味の確認 要求水準書 第8章 資料 2 既存設備概要 記載の記号 浸●で示される各設備は、要求水準書 第3章 技術的要求水準 6 浸水対策改修工事に述べられている事を踏まえ、原則全て想定浸水高さ2m以上に設置すべしと理解して宜しいか。	貴見のとおり。
6	本棟耐震改修状況 本棟の耐震改修に関する資料がありませんが、本棟は、いずれの階・執務室に於いても、耐震改修工事はしていないのでしょうか。	いずれの階・執務室においても、耐震改修工事は行っておりません。